

1. 香川県の特徴

香川県は四国の北東部に位置しており、北部は瀬戸内海に面して讃岐平野が広がっています。また、南部には讃岐山脈が連なり、瀬戸内式気候となっていることから、温暖で日照時間が長く、降水量が少ないという特徴があります。

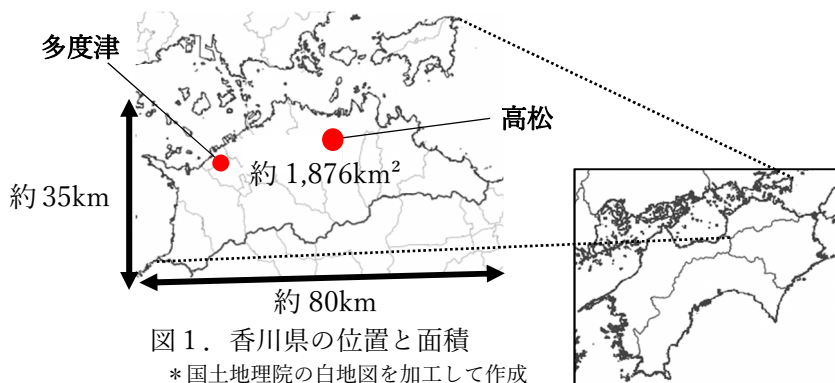


図1. 香川県の位置と面積
* 国土地理院の白地図を加工して作成

2. 香川県の気候変動について

香川県の年平均気温は、長期的に上昇傾向にあり、高松では50年あたり約1.77°C、多度津では100年あたり約1.27°Cの上昇率となっています(図2、3)。また、年間降水量の長期的な変化傾向は見られませんが(図4)、無降水日数が増加(雨の降る日が減少)する傾向にあります(図5)。今後も気温の上昇が続くとともに、降水現象がより極端化する予測が示されています。

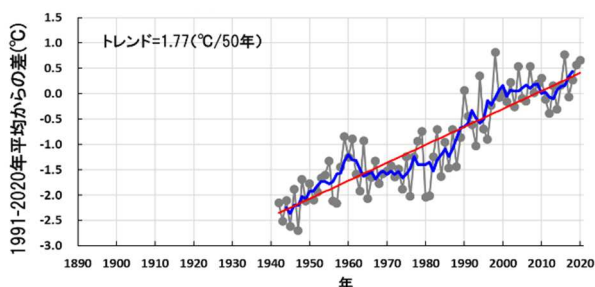


図2. 高松の年平均気温の推移

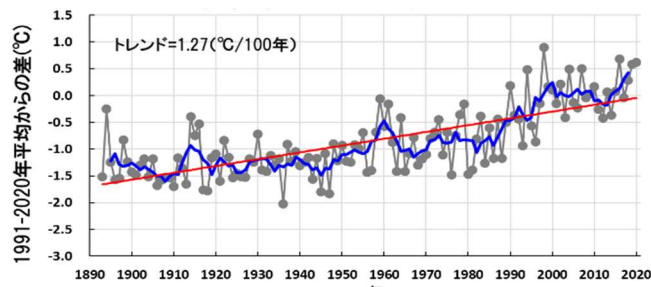


図3. 多度津の年平均気温の推移

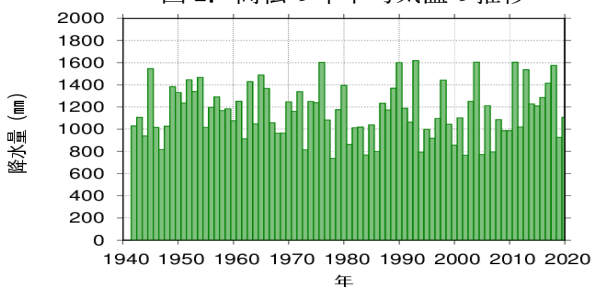


図4. 高松の年降水量の推移

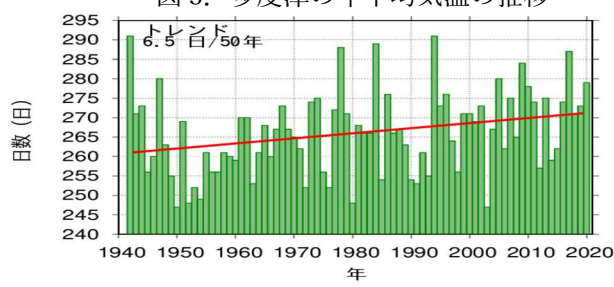


図5. 高松の年間無降水日数の推移

* 太線(青): 5年移動平均値、直線(赤): 長期変化傾向

図2、3: 気象庁ホームページのデータを用いて作図、図4、5: 高松地方気象台提供

3. センターの主な業務

香川県気候変動適応センターは、令和元年10月1日に香川県環境保健研究センターを拠点として設置されました。当センターでは、気候変動に関する様々な情報の収集・整理を行っています。また、国の気候変動適応センターや他の研究機関等と連携することにより、情報基盤を強化しています。今後は県民や県内事業者への情報提供を通して、地域の『適応策』の取り組みを促進していきます。

「適応策」とは・・・

温暖化により起こりつつある気候変動の影響に備えて対策を行うことで、被害を回避・軽減しようとするもの

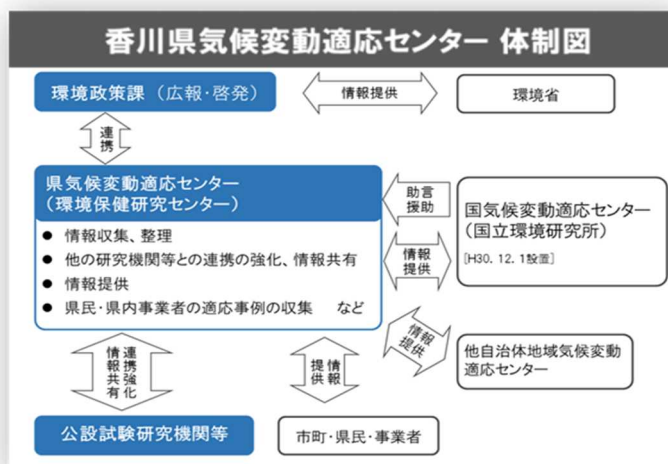


図6. 香川県気候変動適応センターの役割と連携体制

4. センターの取り組み

4-1. 熱中症予防・暑熱対策へむけた共同研究

香川県における地域ごとの暑さの違い等を把握するため、センターでは暑さ指数(WBGT)計・温湿度計による測定を行っています。今年度は、市街地である『高松』と郊外の地域である『滝宮』において、県内2つの高校と協力し、夏季における暑さ指数の測定を実施しました。今後様々なデータとの関連を解析し、熱中症予防・暑熱対策につながる評価手法の構築を検討していきます。



図7. 暑さ指数(WBGT)測定の様子(校舎内)

<参考> 香川県における熱中症搬送者数

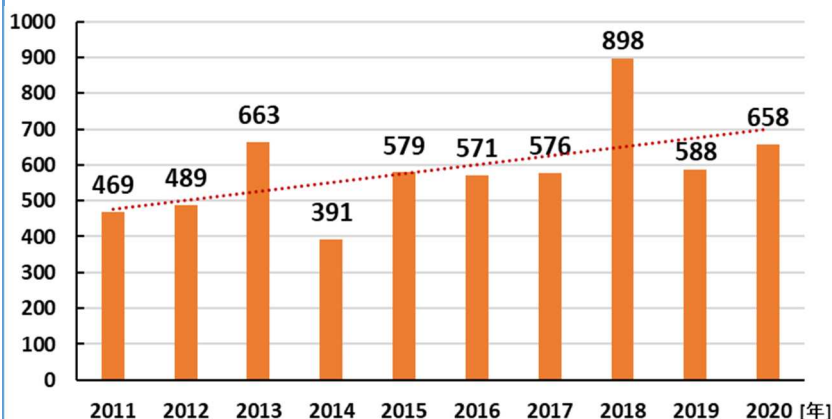


図8. 香川県年別熱中症搬送者数

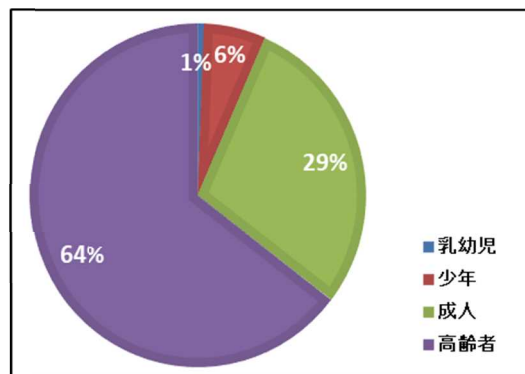


図9. 熱中症搬送者における年齢区
分の内訳(2020年)

* 消防庁ホームページのデータを用いて作図

香川県の熱中症救急搬送人員数は増加の傾向にあり、2020年において、熱中症搬送者数(人口10万人あたり)は全国で7番目と高くなっています(図8)。また、熱中症搬送者のうち、高齢者の搬送者数が64%を占め、成人の約2倍以上となっている(図9)ことから、年齢を重ねるほど熱中症への対策が重要であると考えられます。

4-2. 国民参加による気候変動情報収集と分析委託業務

香川県特有の気候変動影響の現状を把握するため、農業者等を対象とした県内農作物に関するアンケート調査及びヒアリング調査を実施し、農業分野における情報収集を行っています。また、アンケートやワークショップを通じて県民の皆様からのご意見をいただき、地域特性に応じた適応策への取り組みを推進していきます。



図10. 気候変動による農作物等への影響(イメージ)

出典：気候変動適応情報プラットフォーム

お問い合わせはこちら

香川県気候変動適応センター

公式HP: https://www.pref.kagawa.lg.jp/kanpoken/tekiou_center/kfvn.html

事務局：香川県環境保健研究センター

TEL：087-825-0400

E-mail：kanpoken@pref.kagawa.lg.jp